

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2025年12月19日）

## ■第1版 第2刷（2023年10月5日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所は [https://www.yodosha.co.jp/correction/9784758121279\\_corrections.pdf](https://www.yodosha.co.jp/correction/9784758121279_corrections.pdf) をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第2章					
88	本文右から9行目	浅層の筋が上分節、脊柱まわりの深層の筋が下分節	浅層の筋が下分節、脊柱まわりの深層の筋が上分節		24/04/19
89	本文右から5行目	僧帽筋が胸壁の上で回転し、	肩甲骨が胸壁の上で回転し、		24/04/19
第3章					
131	本文左から7行目	上肢は、前部コンパートメントと	上腕は、前部コンパートメントと		23/11/24
133	図13			※1を参照	25/12/19
138	本文右から2行目	欠如しています。	欠如しています <sup>(3)</sup> 。	赤字部分を追加	24/04/19
138	本文右から3行目	気づきませんでした <sup>(3)</sup> 。	気づきませんでした。	赤字部分を削除	24/04/19
147	本文左から1行目	短母趾伸筋	短母指伸筋		24/04/19
第5章					
196	本文右から5行目	前胸壁の下には、肺と心臓が見えてきます。	前胸壁の後ろには、肺と心臓が見えてきます。		25/12/19
235	図21のタイトル	縦隔の区分	気管支の分岐		23/10/06
第6章					
264	本文左から1行目	こんなダイナミックは中腸の回転ですが、	こんなダイナミックな中腸の回転ですが、		25/12/19
272	本文右から3行目	男性の方が女性より少し長く、体重が重くても長いです。	男性の方が女性より少し長いです。	赤字部分を削除	25/12/19
274	本文右から4行目	ペプシノーゲン、粘液が分泌されます。塩酸は強力な殺菌作用を発揮します。ペプシノーゲンは、塩酸の働きでペプシンというタンパク質を分解する酵素になります。粘液は消化から胃粘膜を保護します。	ペプシノーゲン、胃リパーゼ、粘液が分泌されます。塩酸は強力な殺菌作用を発揮します。ペプシノーゲンは、塩酸の働きでペプシンというタンパク質を分解する酵素になります。胃リパーゼは脂質を分解します。粘液は消化から胃粘膜を保護します。	赤字部分を追加	25/12/19
第7章					
323	本文左から6行目	つくります。滑膜性関節です。		赤字部分を削除	24/04/19
327	本文左から7行目	恥骨肛門筋	恥骨直腸筋		24/04/19
328	本文左から3行目	このとき肩が参道の	このとき肩が産道の		24/04/19
336	本文左から1行目	脊髄と間	脊髄との間	赤字部分を追加	24/04/19
第8章					
384	本文左から4行目	深腓骨神経なので前部コンパートメントの仲間なのですが、作用は外側コンパートメントの筋と同じという、どっちつかずなやつです。	深腓骨神経ですし前部コンパートメントの仲間なのですが、名称や作用が似ているので外側コンパートメントの筋の続きみたいに思われがちです。		24/05/10
第9章					
400	本文右から2行目	頸部の浅葉にある筋でまず目立つのが、	頸部の浅層にある筋でまず目立つのが、		25/12/19
421	本文左から6行目	レンズ眼が2回生まれたのです。	カメラ眼が2回生まれたのです。		23/10/27

※1 「橈骨」と「尺骨」の差し位置を修正しました

